

箸で見る韓国の食習慣

キムシンヒョン
太宰府市国際交流員 金辛泓

似ているようで違う韓国と日本。今回のテーマは「箸」です。日本では食事の時に箸だけを使うことが多いですが、韓国ではスプーンと箸が一对なのが普通です。これは食事のマナーが影響しています。器を持って食べてはいけない韓国では、汁物を食べるのにスプーンが必要です。ご飯と汁物はスプーン、おかずは箸で食べるのがマナーです。配膳では、ご飯の右側にスプーンを置き、その右側にスプーンを横置きではなく縦置きに配置する違いがあります。

この他にも、韓国のスプーンと箸は日本と違って平たく、金属製です。以前は鉄や銅、銀など多様な素材が使われていましたが、今日ではステンレス製の箸が一般的です。韓国の箸が金属製になっている理由は定かではありませんが、韓国の食習慣と関係があると言われています。韓国の食べ物には漬物類が多く、木より鉄の方が適していたという考え方です。例えば、キムチは木の箸を使うとキムチの汁で赤く変色します。それを防ぐために、金属を使うようになったと考えられます。その他にも、韓国は鉄鋼石が豊富だったため金属製のスプーンが普及したという説や、金属は管理や洗浄が簡単で耐久性に優れていたために定着したという説もあります。



韓国のスプーンと箸

人権標語

もっていたい
やさしい笑顔と
思いやり太宰府南小5年 野茂 絢音さん
(応募時)うえの ともこ
上野 智子
(五条区) 池坊

花材 石化柳、鶏頭、小判草 他

季節の生け花

太宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

白秋の音訳書に嵌るその詠みし
慰鶴の声降り来る窓に

大佐野台 宮崎 フミ

羽根いたく傷めし蝶は吾が庭の
草に休みぬそこは日溜り

湯の谷 山崎八重子

風かをる古刹の楠の青葉臍
見上ぐる人らの眼差し優し

五条 山田 乃ぞみ

大池の二尺の鯉らがわがパンを
玉競りする五月晴れの日

春日市 山本 恵一

夕間暮ふいに光る目現われる
道路もテリトリ余裕の蝦夷鹿

筑紫野市 渡辺 保子

太宰府俳句会

持永 真理子 選

窓開けし外出の不安夕立雲

星ヶ丘 柴田慧美子

夕立に翼の欲しき程の足

馬場 有岡 和砂

ロボットの涼しく巡る喫茶店

国分 松尾 満子

広重の版画の世界めく白雨

筑紫野市 幸田はるみ

家の歴史破れ網戸の語りをり

水城 福永 恵美

飛梅句会

介弘 紀子 選

夏野行く子等の頭の見え隠れ

馬場 野上コト子

沢蟹や子らの心をわし掴み

観世音寺 野田 杉子

たてよこに風転がりて夏野かな

青葉台 平野 香

黙深き一人に夏野暮れんとす

朝倉市 味噌ふじ子

秘め事も悲しみも捨て夏野行く

青葉台 本山 晴子

宝満句会

菅井 久美子 選

図書館の静けさ覆ふ夏木立

長浦台 徳賀美智子

絵手紙の詞短かし柿の花

高雄台 荒島由美子

万葉の歌碑をめぐる夏木立

筑紫野市 名本 剛

風穴に暫し安らふ夏木立

星ヶ丘 江里口幸生

藁屋根の見えくる谷戸や柿の花

福岡市 工藤 友子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選

麦秋の中を駆け抜く新特急

福岡市 北川朴洋子

身の内の濁り溶けゆく花卯木

福岡市 宮津英里子

そらの蒼ネモフィラをあを海の蒼

福岡市 塩飽たか子

父の日を祝つてもらふ父となる

青葉台 彦坂 正幸

日めくりや半分のこし夏がくる

筑紫野市 寺田 恵子

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選

どん底に失うものは無い強味

松川 山根 清

思い出を守る家族の古写真

筑紫野市 吉田 敬子

山頂を前に撤退する勇氣

大野城市 野田 茂生

ペタルこぼ皆に見せたいヘルメット

観世音寺 松浦 ちえ

あちこちで増える異国語コロナあけ

福岡市 迎 あゆ子